

取組みテーマ ①

地域コミュニティの活性化

未来わがまちビジョン推進事業

(淀川区)



大阪市の新しい総合計画(区市民まちづくり活動指針)を策定するための住民組織として、平成16年度、各区に「未来わがまちよどがわ会議」が立ち上げられました。

「淀川区未来わがまち会議」では、平成16～17年度の2年間に渡り、区民自らがまちの特性や魅力を活かした将来像を描き、その実現に向けて地域での活動に取り組むため、計10回のワークショップが開催されました。その成果として策定されたのが、「淀川のほとりで夢をつむぐ」淀川区未来わがまちビジョンです。

「淀川区未来わがまちビジョン」は、3つのまちづくりに関するテーマで構成されています。

- ①暮らしよい淀川区をめざして、環境保全や防災・防犯に取り組む
- ②子どもを育て、教育・文化を創造するまちを再生する
- ③交流を促進し、福祉のコミュニティづくりを支援する

淀川区においては、平成18年度から、このビジョンに市民主体で取り組むことができるよう、「未来わがまちビジョン推進委員会」を立ち上げ、3つのまちづくりテーマに沿った実践活動を行ってきました。

①のテーマでは、神崎川の清掃活動や、毎年10月に開催される「よどがわ河川敷フェスティバル」にて淀川河川レンジャー(国土交通省淀川河川事務所)のブーススタッフとして活動。また、中学校と連携して防災図上訓練を行いました。

②のテーマでは、各地域で行われているユニークな活動を各委員のネットワークを活かして情報収集し、「よどがわ河川敷フェスティバル」でパネル展示を行いました。

③のテーマでは、十三駅～区役所周辺や「よどがわ河川敷フェスティバル」で車椅子体験を行い、バリアフリーについて



神崎川ウォッチングの様子

の意識の向上を図る活動を行いました。

平成21年3月には、地域福祉アクションプラン推進委員会と連携し、移転後の淀川区役所旧庁舎を利用して、各地域の委員のネットワークを活かし、まちづくり、福祉、子育てなどに関する様々なブースを出展できるイベントを計画しています。



クローズアップ 中学校区単位でビジョンを

また、一方で「未来わがまち会議」の地域版(中学校区単位)を実施しています。淀川区には六つの中学校があり、その校区ごとにわがまち会議を立ち上げ、より地域に密着した地域版のわがまちビジョンを策定・実践していくものです。

平成18年度より美津島中学校区、十三中学校区、新北野中学校区、東三国中学校区、三国中学校区において順次実施し、各地域での特色が現れたビジョンが策定されています。

平成21年度の宮原中学校区での実施をもって、全中学校区での地域版ビジョンの策定が完了予定です。



まちづくり地域リーダー、地域ゆめ・まち会議のまちづくり活動への支援 (東淀川区)



クローズアップ 小学校区での取組み

東淀川区では、区民の参画により区独自のまちづくりビジョンである「未来わがまちビジョン」を平成 18 年 3 月に策定しました。その推進については、「東淀川区は面積も広く人口も多いため、特徴や課題も様々である。より身近な地域で話し合いを行い、専門家のアドバイスを受けたい。」という意見がありました。

また、現在、地域でのまちづくり活動は担い手が少なくなっているため、人材の発掘・育成とまちづくり活動に取り組む場

が必要となっています。

東淀川区では、平成 18 年度から 3 カ年で、まちづくり活動に取り組む地域リーダーを発掘・育成するため、地域の各種団体等や区内の大阪経済大学と連携・協力して、「地域ゆめ・まちリーダー塾」を開催し、まちづくりの講義・ワークショップや先駆的地域への視察を実施しています。

また、地域の人的資源を横断的に結集し、区民の参画・協働による地域での身近なまちづくり活動に取り組む場として、区内全 17 の小学校区に「地域ゆめ・まち会議」を設置・開催し、区役所が支援することにより、地域の魅力向上や課題解決につながる区民の自主的・主体的な取組みを推進しています。

平成 20 年度からは、「地域ゆめ・まち会議」が取り組む地域の特性や魅力を生かした身近なまちづくり活動に対して、必要な物品等を提供する支援事業を実施し、今後の継続した取組みにつなげていきます。

「東成区わがまちビジョン」等区民主体の取組みへの支援 (東成区)



平成 16 年 9 月、区民の代表が集まり、「東成区未来わがまち会議」が立ち上がり、「自分たちのまちは自分たちの手で」を合言葉に、10 年後の東成のまちの将来像を話し合ってきました。その結果、平成 18 年 2 月に区民手づくりの「東成区未来わがまちビジョン」がとりまとめられ、同年 8 月には同ビジョン推進のため、公募区民委員と東成区 11 校下の代表とで「東成区未来わがまち推進会議」が設立されました。同ビジョンの 4 テーマ(①環境・景観②安全・安心③まちの賑わい・活気④子ども・高齢者)ごとに班が編成され、テーマごとに、公募区民委員と校下代表者が協働することで新たなネットワークを形成し、様々な区民主体のまちづくり活動を実践しています。

平成 20 年度は、より区民主体のまちづくり活動を実践していくために、テーマごとの班活動に加え、班代表による会議を開催し、班間の連携を強めながら、わがまち推進会議の自主自立に向けた検討などを始めています。具体の事業としては、区民まつりにおける「わがまちブース」出展、「モノづくりニュース」の発行、「家庭内防災会議」の実施(東小橋)、防災マップ(水害対策編)の作成(今里)、食育講演会の開催(片江)、要援護者の支援事業(今里)、「わがまち学校」の開催(宝栄)など着実な成果が挙がっています。

テーマ1

環境・景観

水の都 東成を目指して!

「うるおいのある東成 やすらぎの平野川に」

船からの平野川ウォッチングに参加

このイベントは、東成区の住家が作業船に乗り込んで「平野川の歴史のまち」「川沿いの歩み(昔ながらの生活)」「水質の向上」などを体験的に感じていただく機会。住民が川と、どう関わっていけばいいかを考えるための企画です。いつも静かな川沿いの風景が船から変われば、とても新鮮な川沿いの風景が広がります。

また、バックキャスト(化学的産業の廃棄物による水質改善)も行い、水質改善が図れることを実感しました。我がまちの魅力ある川と復活できる仕組みも今後の活動で進めていきます。

北中道校下では自主管理化に向けて、平野川左岸の樹木の剪定を大阪府環境川水改修工務所に依頼しました。今後、川面に景観のためのタイル装飾なども進めるイベントを計画中。

活動予定

- モザイク地域をめぐって平野川に面する各校下へアタックし、花・水等の情報を集めていこう!
- 「ため息」をしながら川沿いを歩く(今里) 等の企画
- 小学生、中学生をターゲットに「わがまちの川や川沿いに何を建てない! きれいにしよう!」と呼びかけ、育てる児童で取り組んでいきます。

※ 4 月頃 川沿いの環境観察会予定

大阪市による平野川分水水路の魚類生態調査を見学

この調査は魚類の生態状況を調べる事で理化学的なデータでは測ることができない水質汚濁状況を把握するが目的で平野川・両分水路で初めて実施されました。場所は大阪市の「片江」付近で作業船から約 1 時間、一地点 200 メートルの範囲で魚を川に投げ入れました。採取されたのは、清潔な水質に住むボラの稚魚の卵、オイカワやアユなど、約 20 匹です。平野川分水水路の水質が徐々に向上している現状に嬉しくなりました。また、この日、採取された稚魚は平成 19 年 2 月現在区役所一階ロビーに展示されていますので、皆さんも立ち寄り下さい。川を大切にしましょう。

「大川かたづけ隊」

都島区未来わがまちビジョン推進事業 (都島区)

都島区未来わがまちビジョン推進会議では、平成 19 年 11 月、「大川かたづけ隊」を発足し、毎月第 3 土曜日に、大川沿いの毛馬桜之宮公園の清掃活動を行っています。

この活動は、「都島区未来わがまちビジョン」が提案している「新しい仲間が集まるまち都島」を実現するために発足したもので、都島区未来わがまちビジョン推進会議のメンバーのほか、活動の趣旨に賛同した多くの市民や区内各種団体の皆



さんがいきいきと活動しています。

大川沿いに展開する桜並木の美しい毛馬桜之宮公園は、散歩やジョギング、サイクリングなどを楽しむ市民で賑わう大阪屈指の総合公園ですが、一部の心ない人たちがタバコやペットボトルのポイ捨てのみならず、家庭の一般ゴミや粗大ゴミなどを不法投棄しています。また公園の各所にスプレー落書きなども見受けられます。

「大川かたづけ隊」のメンバーはピンクのバンダナを身につけ、遊歩道をはじめ、樹木の茂みに投げ込まれたゴミも収集するほか、落書きなどを発見した場合は、関係機関と連携しながら解決し、よりよい毛馬桜之宮公園の環境づくりに努めています。



ピンクのバンダナが目印

マンションと地域の架け橋事業 (福島区)

福島区では、近年、マンション建設が急速に進んでおり、従来から暮らす住民とのつながりや交流が少ないことが地域の課題となっています。またマンション居住者間のコミュニケーションが希薄といった課題も生じています。

このため、地域とマンション住民とが出会い、相互理解を深め、将来的にはともに支えあえるまちになっていくことをめざし、「福島区地域福祉アクションプラン推進委員会」、「福島区未来わがまち会議」が区役所、区社会福祉協議会と協働して「マンションと地域の架け橋事業」を実施しています。

この事業は、地域住民主体のボランティア等が、マンション内のスペースなどを利用して、子育てサロン、ふれあい喫茶サロンの開催や子育て・介護などの出張相談、交流会などの事

業の実施や、各種の情報提供を行い、マンションと地域の相互理解を図るものであります。

平成 19 年度は 5 マンションで 6 事業が実施され、平成 20 年度は 9 マンションで 10 事業が実施予定となっています。

この事業の実施を契機として、マンション住民が歳末警戒などの地域事業に積極的に参加されたり、さらにはマンション全体が町会組織に加入するという成果もめています。



川が結ぶ人とまち「三区物語」 (西区・大正区・浪速区)



クローズアップ

3区で、連携、交流

西区・大正区・浪速区の三区は、尻無川・木津川・道頓堀川を境界に接し、大正橋・岩松橋付近が三区の結節点となっています。

共有する川を持つ三区民の交流を深め、情報のネットワー

クを密にして、幅広いコミュニティによる区民中心のまちづくりを進めていくために、チャレンジ事業として平成19・20年度に「川が結ぶ人とまち」をテーマに大正橋・大阪ドーム南公園をメイン会場に、三区合同のイベントを実施しました。

「三区物語」は、来場者に対して、川の再生と川の魅力再発見の機会を設けるイベントであるとともに、事業に参加している各区の未来わがまち会議が、それぞれ取り組んでいる活動に、マンネリ化や、事業成果、事業の広がり限界を感じているため、違う角度からのアプローチの必要性から、同じ「川」という地域資源を持つ三区の交流、情報交換を通してお互いがアドバイスや知識の享受による事業反映や手法の転換、創意工夫を加えるなど、各区わがまち会議の活性化を促す目的も持っています。平成20年度は、イベントの来場者数が4,000人を超え、参加者からも好評を得ています。

【イベントプログラムの内容】

- ①道頓堀川を航行する渡し舟と船上での環境講座
- ②ドラゴンボート乗船による親水体験
- ③水上ステージでの吹奏楽演奏など
- ④未来わがまち会議交流フォーラム
- ⑤模擬店
- ⑥ふれあいサイクル など

「旭区ブランド」「旭わがまちお宝」

「翔ばたけ 旭区ブランド」事業 (旭区)



クローズアップ

地域資源を発掘・発信

「旭区未来わがまちビジョン」の実現に向け、区民の誇りとなり旭区の活性化をめざして、「旭わがまちお宝旭区ブランド」を選定することとしました。

そのために、区民の方々による「旭わがまちお宝発見隊」が平成18年12月に組織され、「旭区のお宝」となるような名物・名店・名工・名所・イベント等の公募を行いました。推薦された約70件を「お宝発見隊」が調査し、旭区ブランド審査会で「旭区ブランド」8件と「旭わがまちお宝」31件を決定し、平成19年10月に広報あさひ等で公表しました。

平成20年度においても、「翔ばたけ 旭区ブランド」事業として、引き続き取り組むこととし、平成20年4月に一般公募とビジョン推進会議委員の皆さん38名で「旭わがまちお宝発見隊」を再組織し、前回と同様に公募を行いました。推薦があった約80件を「お宝発見隊」が調査し、62件の「旭わがまちお宝」を認定しました。その中から、区内の学識経験者や商工団体関係者からなる旭区ブランド審査会において、5件の「旭区ブランド」が認定されました。

この結果を平成21年3月に広報あさひ等で公表するとともに、ビジョン推進会議・お宝発見隊の皆さんの手づくりで「旭区ブランド・旭わがまちお宝総合発表会」を開催します。



取組みテーマ ① 地域コミュニティの活性化

市民との協働の拠点としての区役所づくり

ひがしなり市民協働ステーション ふれ愛パンジー (東成区役所)



クローズアップ
拠点づくりから市民と協働で

東成区役所では「区政改革基本方針」の「地域活動を支援し、地域課題解決に市民とともに取り組む協働の拠点をめざして」及び、「各区の特性に応じた組織・体制整備」などを踏まえ、平成 19 年 4 月、「区民参画協働担当(現市民協働担当)」を設置し、地域活動プラットフォームの基盤づくりに取り組むこととしました。

区民参画協働担当(当時)では、各区役所税務担当の市税事務所集約による区庁舎再整備で生まれるスペースを、地域活動プラットフォームの形成支援拠点として活用していくことについて、その検討段階から、区民の意見を積極的に取り入れていこうという今までにない取組みをはじめました。

そのような状況の中、平成 19 年 8 月、公募により集まった「参画協働センターをいっしょにつくろう会(以下「つくろう会」)」が発足しました。

「つくろう会」では、メンバーの自由な討論で企画を進めたことにより、メンバーに「区民のための場所」という意識が芽生え、主体的・積極的に活用方法の検討が行われました。一方、区内有志企業による「ものづくりパートナー」にレイアウトやハード面をサポートしていただくなど、市民と企業との協働による取組みが進められてきました。

平成 20 年 3 月、いろいろなまちづくり活動支援や情報発信、まちづくり活動のコーディネートなどの機能を発揮することで、ネットワークの形成や地域活動プラットフォーム形成の拠点となることをめざす、ひがしなり市民協働ステーション「ふれ愛パンジー」がオープンしました。

〔平成 20 年度の取組み〕

「ふれ愛パンジー運営委員会(旧「つくろう会」)」を中心とするさまざまなまちづくり活動グループが、ふれ愛パンジーを活用したさまざまなイベントを通じて、まちづくりに関わるネットワークの形成や情報発信などを進めてきました。

6 月に開催した音楽に関わるイベントを契機にした、「ミュージックフレンズ」という音楽を楽しむネットワークや、東成の芸能文化を再発見していくネットワーク、「菅笠」という同じ伝統文化を持つ鳥取市との交流など、地域特性を活かしたまちづくり活動の活性化が着実に進んでいます。

今後も、市民と区役所、市民と市民などが、地域課題解決に協働して取り組んでいけるような基盤づくりを進めていくこととしています。



フレンズ 急募!

まちづくり

してみませんか?

ふれ愛パンジーで！
なかまをつくって！

東成区役所1階にある「ひがしなり市民協働ステーション(ふれ愛パンジー)」では、いろいろなまちづくり・地域団体・ボランティアの皆さんがイベントやまちづくり、様々な活動を行っています。

ふれ愛パンジーは、まちづくりのための活動ができるうえ、東成区のまちづくりのための機能が満載。いわば「東成区のまちづくりの拠点」です。あなたもここで活動してみませんか?

フレンズというボランティアに登録してもらえば、いろいろなグループ・個人の方に出会えます。いっしょになって楽しいまちづくりができるよ!

趣味が好きな方、音楽が好きな方、子どもが好きな方、イベントが好きで、その他色々な活動のまちづくりの活動が好きな方が登録しているのでぜひ一緒にまちづくりをしましょう!

また、イベントにお手伝いしたいだけの方やボランティアも募集していますので、まずは一歩「ふれ愛パンジー」へ!

フレンズの登録は団体・グループ・個人、どなたでも登録いただけます!! ふれ愛パンジーはグループと個人が出会う場でもあります。

フレンズ登録していただければ、なんと「ふれ愛パンジー」で、まちづくりに関するイベントやまちづくり活動に参加することができます。申込みは簡単で、インターネット上でも可能。イベントは毎月開催です。フレンズで活動の機会を自分、まちづくりやボランティア活動の仲間と共有していきましょう。

●登録方法・問い合わせ
ふれ愛パンジー運営委員会 事務局
東成区役所 市民協働担当
〒527-8511 東成区大今里1-4-4
東成区役所1階 ふれ愛パンジー
TEL 077-8814 FAX 077-2738

●申し込み期間
申込み期間をご記入いただき、事務局へお持ちいただくか郵送またはFAXにてお送りください。

すみのえCSO事業 区民情報スペース「さんさんざん家」 (住之江区役所)



クローズアップ

多様な活動の情報拠点に

NPOに代表される新しい型の市民活動は総称してCSO (Civil Society Organization: 市民社会組織)と呼ばれます。CSOへの支援・育成は大阪市にとって重要な課題となっていますが、各地域での具体的な支援手法等はいまだ手探りの状態と言わざるを得ません。住之江区では、直接個々の団体に対してではなく、それぞれの団体が情報交流し連携していくためのネットワーク化を支援することを基本とし、以下の活動を実施しています。

① NPO、ボランティア、企業などが一堂に集まり、日常活動をPRするイベント「すみのえ志民まつり」をCSO主体で開催します。

ーネットのサイトで「Web すみのえのみ」を立ち上げて運営しています (<http://www.suminoe.org/>)。その中にある「住之江 cotocoto」では、簡単に行事などをPRできる環境を整備しています。

③平成 20 年度に区役所内に設置された区民情報コーナー「さんさん ざん家」では、一般的な行政情報の提供だけではなく、区民自身がチラシやポスターでの活動情報を発信したり、大型テレビを使って映像で情報提供、またこのコーナーを使ったミニ講座なども開催を予定しています。

さらに平成 21 年度に向けてはインターネットサイトを閲覧できる環境を準備しており、②の事業とも連携していく予定です。



区民交流プラザ

区民活動拠点整備事業 (北区役所)

北区役所では、税務事務の市税事務所移管に伴い生じるスペースを有効活用し、平成 20 年 10 月区役所 1 階に「区民交流プラザ」(約 190 m²)を新設しました。

「区民交流プラザ」には区民情報コーナー・コミュニティボード・区民ギャラリー・ミーティングコーナーがあり、地域からの情報発信や NPO・ボランティアグループなどの市民活動団体の出会いと交流の拠点として活用していきます。

平成 20 年度は「つながりから生まれるまちづくり」をテーマにしたセミナー・交流会・フォーラムの開催や、保健師による健康講座・伝統文化などの企画展示を行い、交流によるネットワークの拡大と市民活動の活性化を図ります。

② 日常的には情報発信・交流のために、CSO自身がインタ

